

■ 第2回宇宙開発利用大賞ダブル受賞について

RESTEC

リモート・センシング技術センターでは、内閣府主催の第2回宇宙開発利用大賞において、内閣総理大臣賞及び環境大臣賞を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

宇宙開発利用大賞とは、宇宙開発利用の推進において大きな成果を収め、先導的な取組を行うなど、宇宙開発利用の推進に多大な貢献をした事例に対し、その功績をたたえることにより、我が国の宇宙開発利用の更なる進展や宇宙開発利用に対する国民の認識と理解の醸成に寄与することを目的とした表彰制度です。

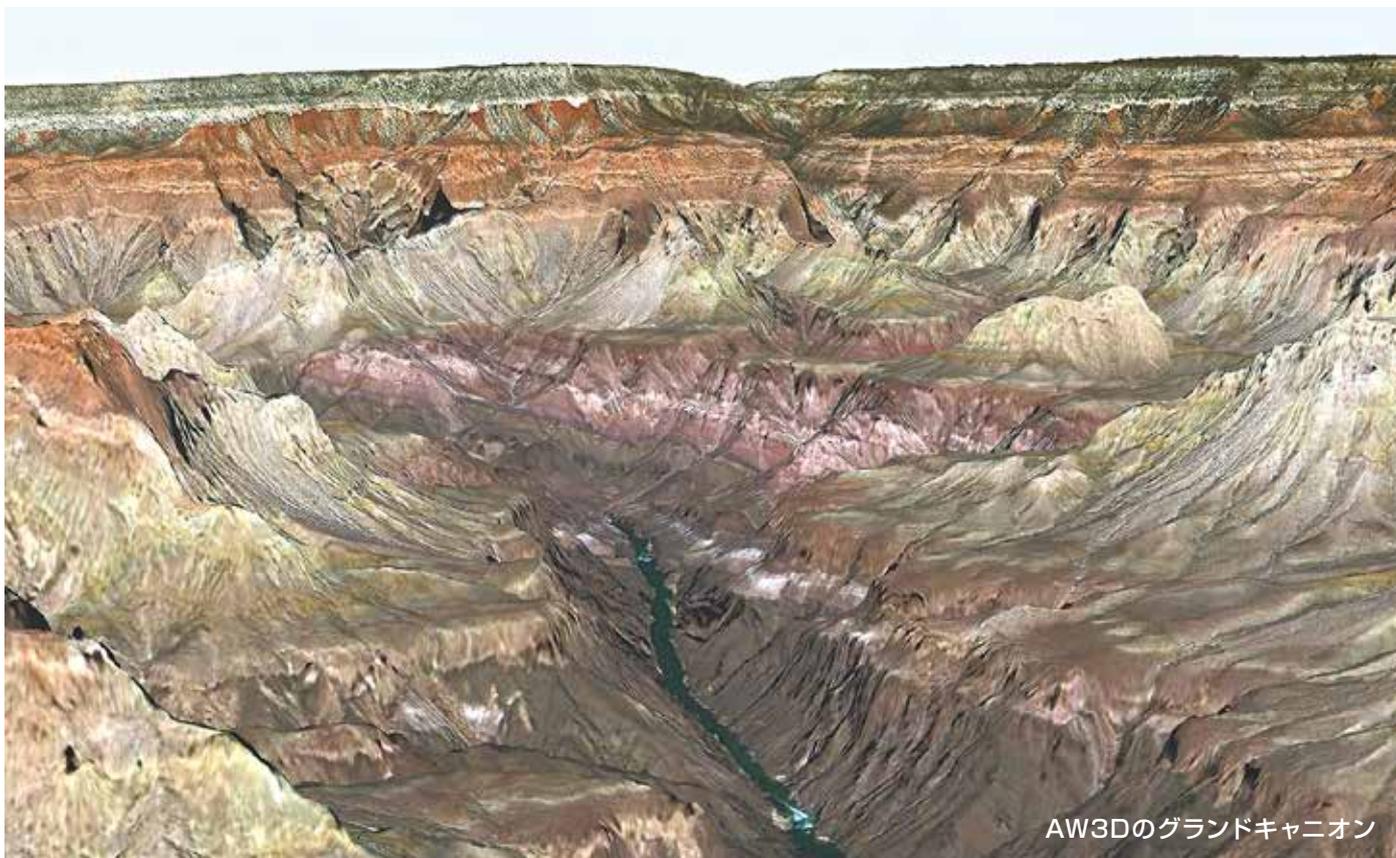
■ 内閣総理大臣賞

RESTEC

株式会社NTTデータ（以下「NTTデータ」）とRESTECが提供する「AW3D®全世界デジタル3D地図提供サービス(以下: AW3D)」(※1)が、内閣府主催の第2回宇宙開発利用大賞において、宇宙開発利用の推進に多大な貢献をし、極めて顕著な功績を認められる事例に贈られる内閣総理大臣賞を受賞しました。

今回AW3Dはその高い技術力と、世界60カ国にわたる幅広いサービス提供を通じて、世界各国の産業・行政をはじめとする社会基盤の高度化・効率化を支援し、日本の宇宙開発利用の普及啓発に大きく貢献したことが評価され、最も優れた事例に贈られる、内閣総理大臣賞を受賞しました。

NTTデータとRESTECは、これからもAW3Dの事業を通じて、世界規模の地理空間情報の利用拡大、市場創出ならびに関連産業の振興に取り組んでいきます。



AW3Dのグランドキャニオン

(※1) AW3Dについて

「AW3D全世界デジタル3D地図提供サービス」は、宇宙航空研究開発機構(以下: JAXA) と連携し、JAXAの陸域観測技術衛星「だいち (ALOS: エイロス)」によって撮影された約300万枚の衛星画像を用いた、世界で初めて5m解像度の数値標高モデル (DEM) で世界中の陸地の起伏を表現する3D地図として、2014年2月にサービス提供を開始しました。

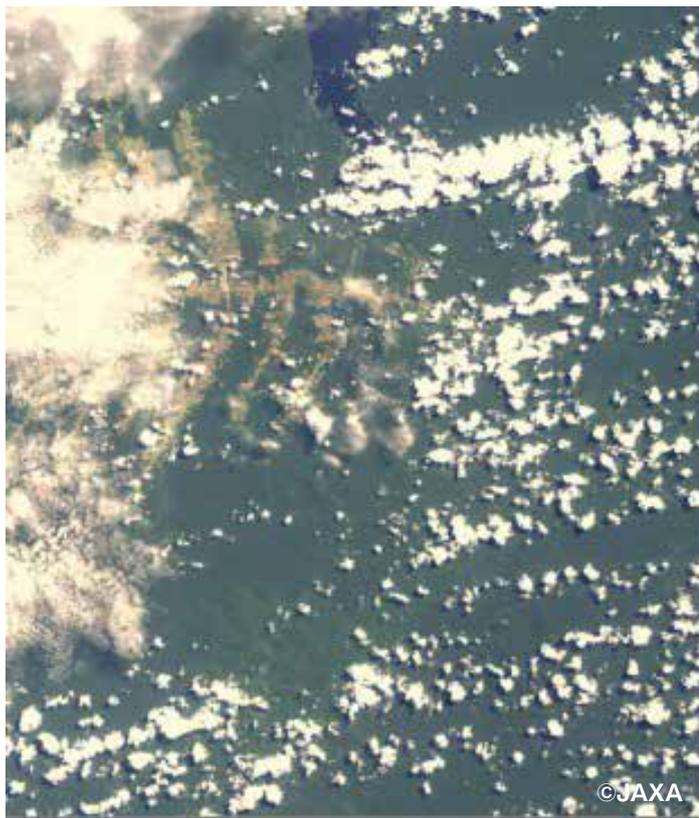
環境大臣賞



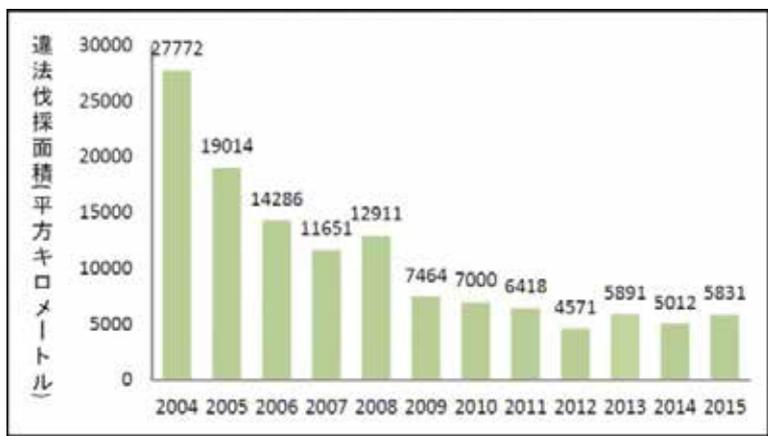
RESTECソリューション事業部 小野 誠特任主席研究員は、ブラジル国における衛星レーダ技術を使った違法伐採低減への貢献が認められ、この度、内閣府が主催する宇宙開発利用大賞において、環境大臣賞(※2)を受賞しました。

本受賞は、ブラジルアマゾン域において森林違法伐採取り締まりに取り組んでいるブラジル環境・再生可能天然資源院 (IBAMA) とブラジル連邦警察 (DPF) 等と連携し、我が国の衛星「だいち (ALOS)」の合成開口レーダ (PALSAR) 画像を用いて定期的な森林監視を行い、違法伐採の減少に貢献したことが認められました。

上記成果に関し、COP18においてブラジル大統領等により違法伐採の減少について言及され、後継の衛星「だいち2号 (ALOS-2)」の利用も期待されています。



左図は2009年8月17日に撮影した光学画像でありブラジル上空の雲が確認できる。右図は同一地域のSAR画像であり、雲を透過して地表が確認できます。この技術を応用することで常時森林地域の監視が可能となり、違法伐採の減少につながりました。



違法伐採面積は、プロジェクト期間 (2009年~2011年) で大きく低減しているのが見て取れます。また、ALOS運用停止等の影響もあり、2013年以降は低減効果が弱まっていることも確認できますため、ALOSの後継機あたるALOS-2への期待も高まります。

(※2) 環境大臣賞の定義：
 地球環境保全、公害の防止、自然環境の保護及びその他の環境の保全の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例

■ 編集後記 RESTECは、このような荣誉ある賞をいただきましたことに感謝いたしますとともに、今後も、本受賞に恥じぬよう、技術面、サービス面すべてにおきまして、より一層の努力を惜しまぬ所存です。来年度も、RESTECの取り組みや成果を沢山発信していきたいと思っておりますので、今後とも皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。